

予約受付中
新刊発売

2021年5月10日
定価 1,980円【税込】
Kフリーダム刊
太郎次郎社エディタス発売

【メッセージ】

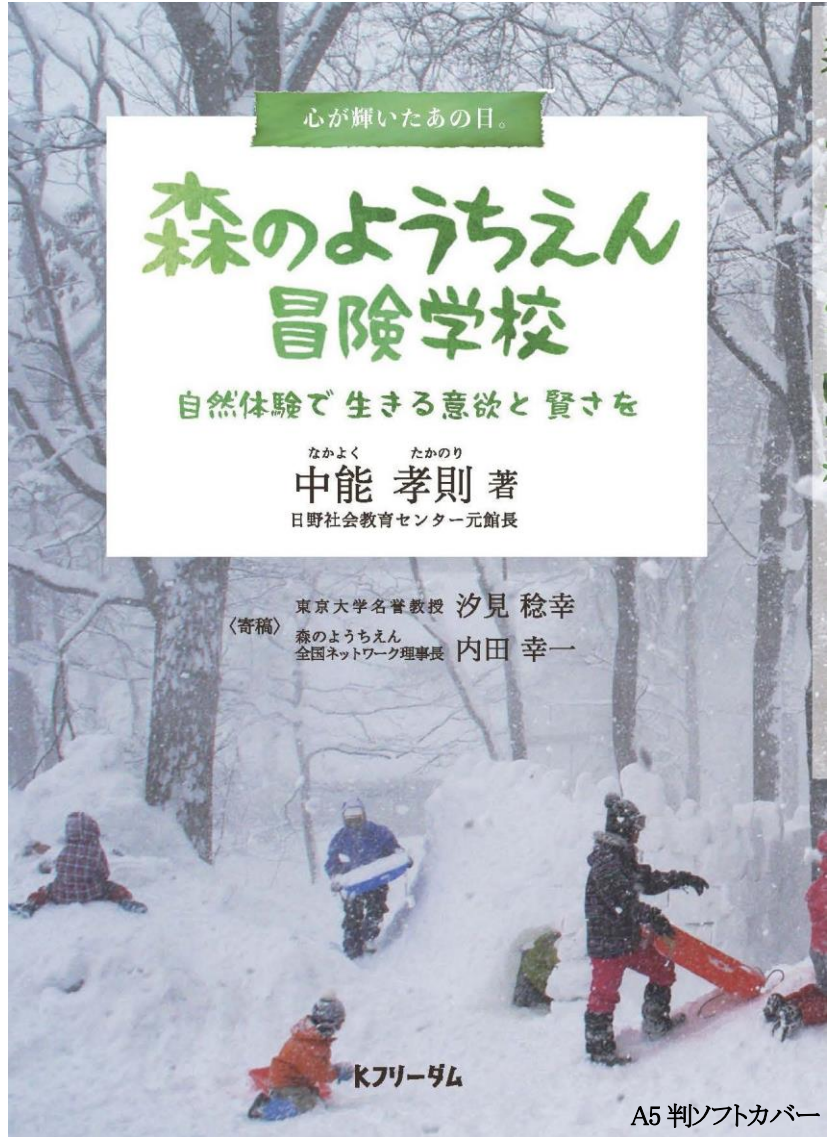
子どもたちが自然の中で遊んだり冒険するのは自分を多様に試す体験、自分の好きなものを見つける体験、自分で計画し失敗しても自分で責任を取る体験、仲間と心置きなく協働する体験等を通じて、たった一回しかない人生を、自分で設計し、自分で主人公になり、自分で演じる練習をしているのだ。

東京大学名誉教授 汐見 稔 幸

子ども時代の体験は、その後の人生に何らかの影響を与えていることは、どなたも否定はされないでしょう。

どの様な未来社会が待ち受けようと、子ども時代の自然を通じた体験やそこで培われる豊かな感性が、人間性の基礎となることを著者は本書を通じて私達に伝えています。

NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟
理事長 内田 幸 一



心が輝いたあの日！

● 子どもにとって森のようちえんは ——

木に好きなだけ登れ、雨でも濡れながら
遊べるそんな冒険ができるところ

● 親にとって森のようちえんは ——

子どもを認めてもらえ、親も認められた
気になるところ

「おもな目次」

プロローグ

・森のようちえんのはじまりはデンマーク

1章 日野社会教育センターの活動

・三つ子の魂百まで

2章 森遊びで育まれ

身につけていく生きる力

・子ども時代の自然体験は、生涯に影響する

3章 安全に安全には 最善の策ではない

・スキルや認知の発達には挑戦的な遊びが有効

4章 自然体験活動で求められる

指導者のホスピタリティー

5章 野外活動を楽しむためのいろは

6章 森のようちえん&冒険学校の

参加者や保護者からのメッセージ

エピローグ

・心に残る出来事

・スイッチは、すべて森遊びの中に